

Q. 思い切って移住しようと考えています！それってOK？

A. 大歓迎です！飛騨高山での暮らしから働き方までご相談ください。



移住して働く！

岐阜県高山市ってどんなところ？

岐阜県の北部に位置する高山市は、自然豊かで城下町を感じられる古い町並みが残る歴史深い町です。観光地としても有名で、休日には多くの人が飛騨高山を訪れます。標高は高山市街地で570mあり盆地型気候のため、降水量が少なく、気温の年較差、日較差が大きいです。夏の昼間は暑く真夏日が続くこともありますが、朝・夜は涼しく、夜はエアコン無しで過ごせるほどです。対して冬は雪が多く厳しい寒さとなり、1、2月の平均気温は氷点下ですが、ほうきでしか除雪できないようなサラサラの新雪が楽しめます。空気がきれいなのでダイヤモンドダストも見られます。

寒い冬が長い分、祭もある春が一層待ち遠しくなり、寒暖の差が大きいため秋の紅葉も綺麗です。

高山の歴史ある町並みや大自然に囲まれた中で日本の四季折々の風景が楽しめます。

もちろん住みやすさも抜群！

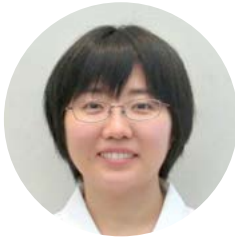
移住してきた先輩から飛騨高山の暮らしについて聞いてみよう



【新人1年目】S・Kさん

私は愛知県から結婚を機会に高山市へ移住しました。

不慣れな環境ではありますが、私が所属する2病棟6階のスタッフの皆さんは優しい方ばかりで、日々楽しく仕事できています。また高山での生活は沢山降る雪にも少し慣れ、友達とスノーボードに行ったり、一緒にランチに行ったりと高山を満喫しています。そして、高山日赤では多くの地域医療を学べる場だと思えます。私もここで成長し、地域医療に貢献していきたいです。



【新人1年目】M・Tさん

数年前より家族で高山に度々訪れていましたが、高山の魅力に惹かれ、ついには地元の関西から移住してしまいました。思わず始めてしまった慣れない土地での生活ですが、高山の心温かい人たちに囲まれ、寒い冬も乗り切れました。困ったことにはとことん相談ののってくれて、まるで親戚のおちゃんおばちゃんのように親身な方々ばかりです。季節の移ろいを間近で感じさせてくれる自然豊かな高山で伸び伸びと過ごすことができている。そしてご飯も美味しいです。私のお気に入りには「鶏ちゃん」です。ぜひあなたも私たちと一緒に働きませんか？



飛騨高山の自慢

その①

やっぱりグルメ

山々に囲まれた文化と伝統が息づく街だからこそ独自の食文化に溢れている飛騨高山。例えば、みたらし団子は、醤油味のお団子。地元の人が愛する味です。漬物を煮たり焼いたりする「漬物ステーキ」や「にたくもじ」。あぶらえ(えごま)のタレが美味しい五平餅。地酒に地ビールにお酒好きな人にもうってつけの街。そして、言わずと知れた飛騨牛！まだまだ紹介しきれないほどおいしい食べ物がいっぱい！伝統と新たな風が入り混じる土地だからこそ移住後も発見がたくさんありますよ！

その②

豪華絢爛な高山祭

京都の祇園祭、埼玉県の秩父夜祭と並び、日本三大美祭の一つとして知られる高山祭。2016年にはユネスコ無形文化遺産にも登録されました。11台の美しい屋台は必見です。中でもからくり奉納は伝統や匠の技術が感じられ、目が離せないほど。心地よく四季を感じられる春と秋に行われる高山祭は、高山の自然や街並みも一緒に楽しめる高山の魅力が詰まったお祭りです。

その③

四季折々の大自然

高山には雄大な自然があり、市内からは北アルプスを望むことができます。長い冬には、スノースポーツや家での手仕事を楽しみ、暖かな春には、一斉に芽吹く植物に、春の喜びを全身で感じられます。夏には、山や川、そして滝でのアクティビティやアウトドアを楽しむ人が多く、アウトドアブランドをおしゃれに着こなす人が多いのも高山の特徴の一つかも。秋には、山々が一斉に紅葉し、山間をドライブすると真っ赤な山に囲まれて非日常の中にいるよう。それぞれの四季が色濃く、そしてそれぞれの季節に喜びを感じられるのは高山での生活の醍醐味といえるでしょう。

採用TOPへ戻る